

2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月13日

地盤ネットホールディングス株式会社
(証券コード：6072 グロース)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	通期	構成比	通期	構成比	増減	増減率
売上高	1,989	100.0%	2,216	100.0%	+227	11.4%
売上総利益	816	41.0%	787	35.5%	△28	△3.5%
販管費	728	36.6%	817	36.9%	+88	12.2%
営業利益	87	4.4%	△29	△1.3%	△117	－%
経常利益	91	4.6%	△28	△1.3%	△120	－%
純利益	△33	△1.7%	△46	△2.1%	△12	－%

売上高：住宅サービスで買取再販を開始。地盤調査、部分転圧工事、BCPOも同期比で増加

売上総利益：解析サービスの原価上昇により横ばい

販管費：子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資実施

純利益：主に販管費増加分、前年同期に比べ減少

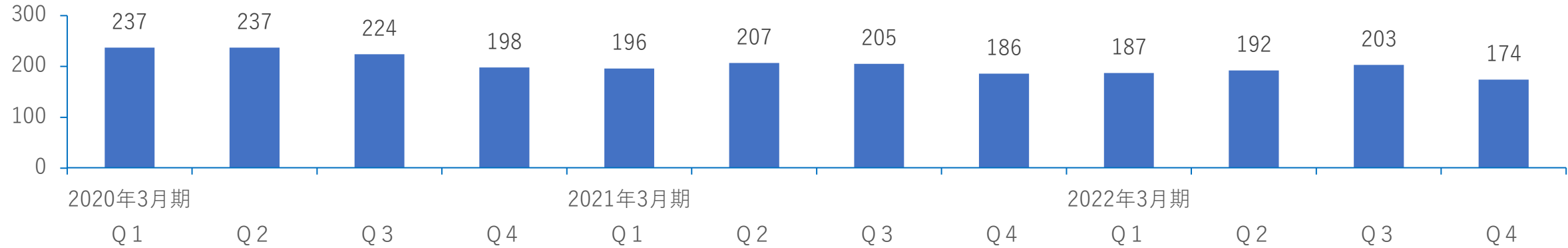
2. サービス別売上高 (単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	通期	構成比	通期	構成比	増減	増減率
地盤解析	794	40.0%	757	34.2%	△37	△4.7%
地盤調査	491	24.7%	549	24.8%	+58	11.9%
部分転圧工事	210	10.6%	250	11.3%	+40	19.3%
BCPO	112	5.7%	198	9.0%	+86	76.5%
住宅関連	274	13.8%	355	16.0%	+80	29.4%
その他 ※	106	5.2%	104	4.7%	△1	△1.3%
合計	1,989	100.0%	2,216	100.0%	+227	11.4%

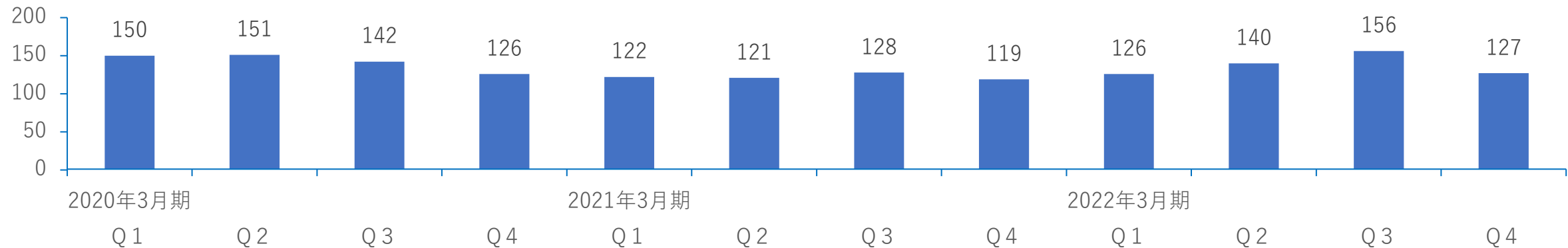
※その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

3. サービス別四半期別 売上高推移① (単位：百万円)

地盤解析サービス



地盤調査サービス

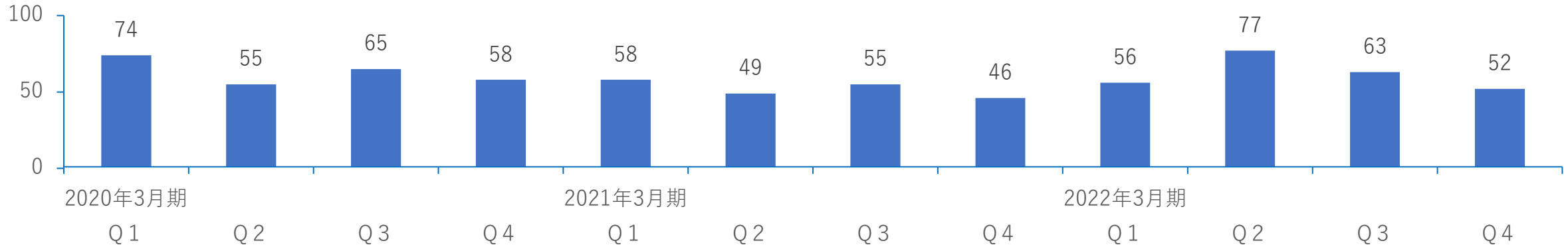


地盤解析サービス：競合他社、改良工事判定案件の増加、平均単価下落の影響あり。件数は微増。

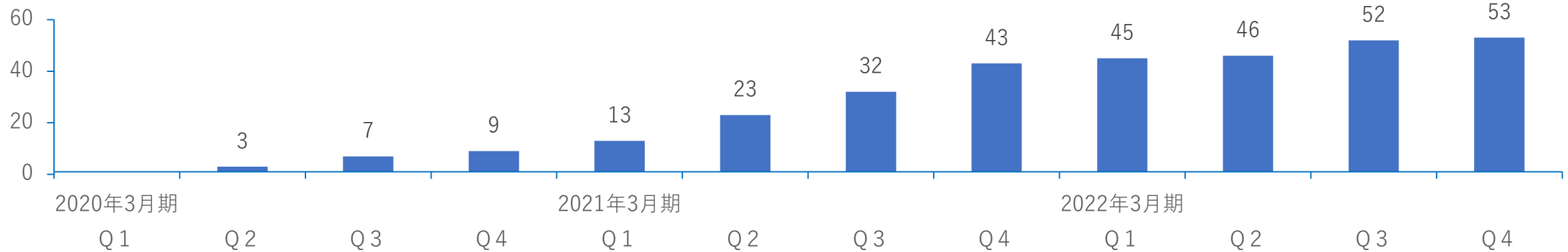
地盤調査サービス：新設住宅着工戸数の増加、営業体制見直しに伴い、前年同期比で増加。

3. サービス別四半期別 売上高推移② (単位：百万円)

部分転圧工事サービス



BCPOサービス

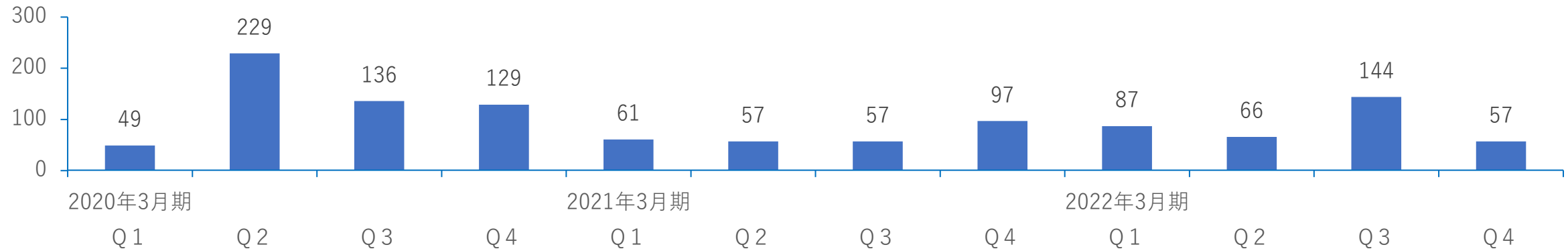


部分転圧工事：判定結果による前後はあるが、60百万円前後で推移。

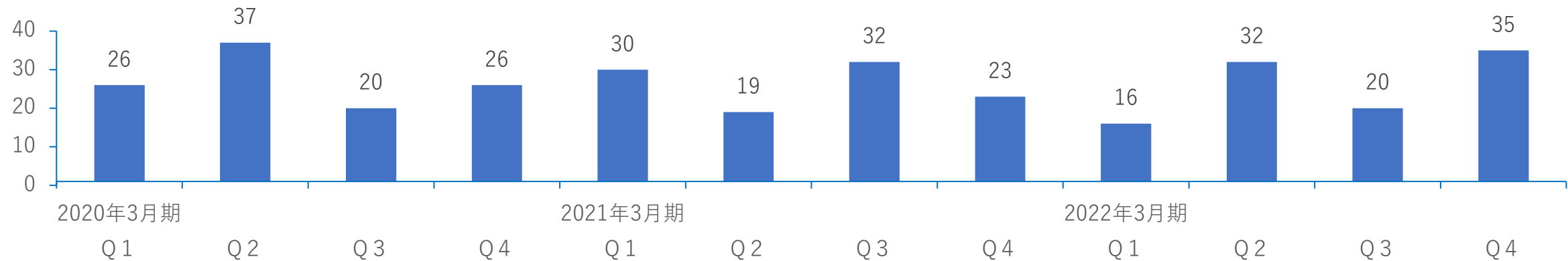
BCPO：商業施設や集合住宅等、戸建以外の案件も増加。

3. サービス別四半期別 売上高推移③ (単位：百万円)

住宅関連サービス



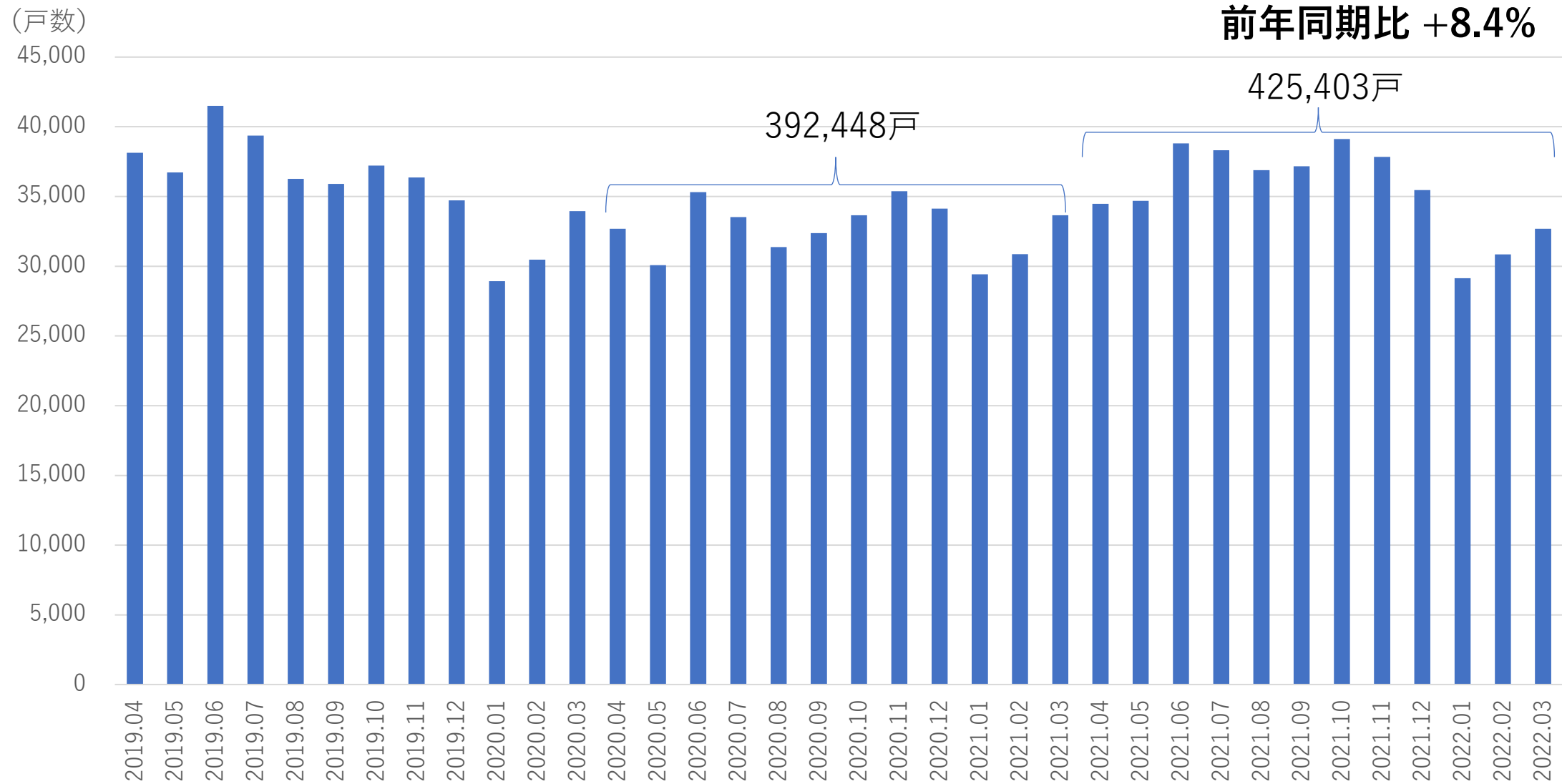
その他



住宅関連：買取再販を開始し、伸長。

その他：FC加盟や調査機器販売がスポットで発生。

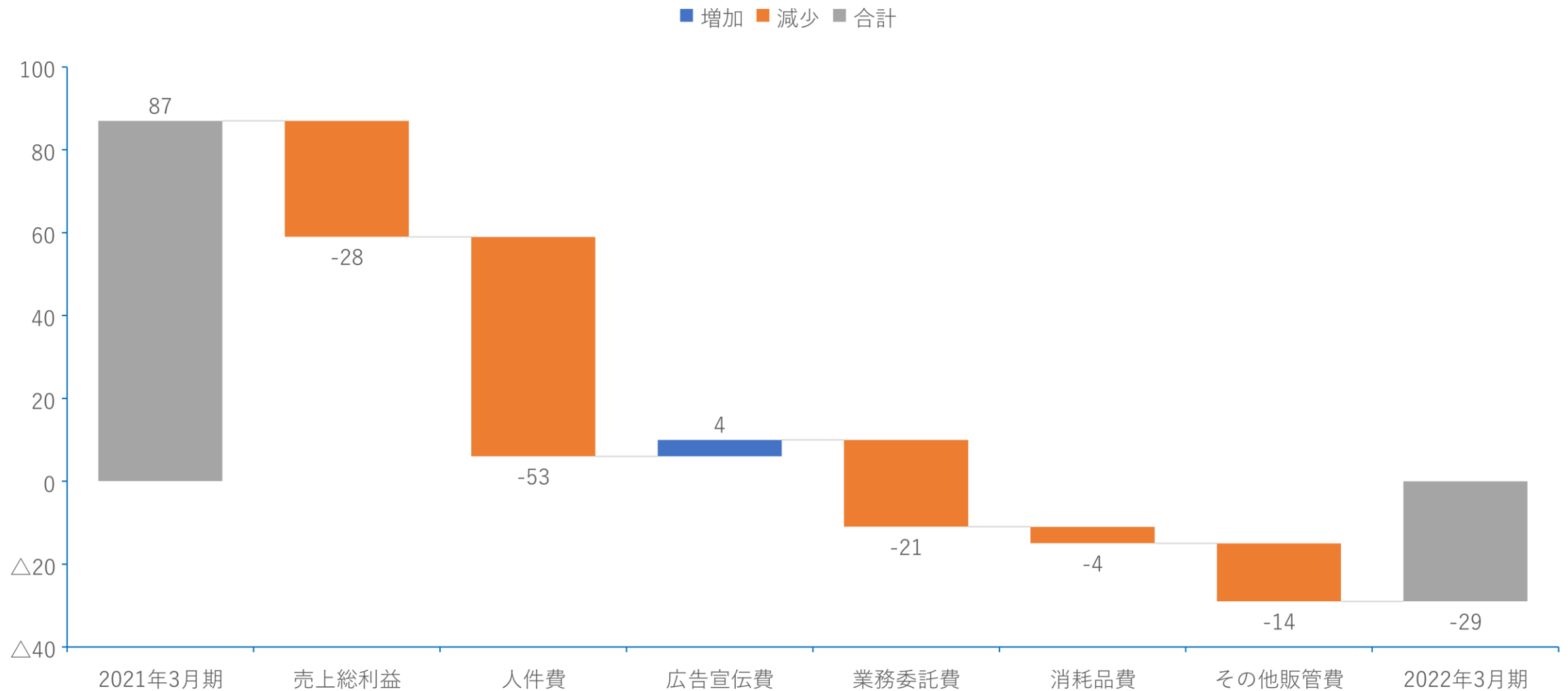
3. (参考資料) 新設住宅着工戸数 推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

4. 営業利益 増減要因 (単位：百万円)



子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資を実施。

5. 2022年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前期末比	
	期末	構成比	期末	構成比	増減	増減率
流動資産	1,573	91.6%	1,642	93.3%	+68	4.4%
有形固定資産	24	1.4%	24	1.4%	△0	△0.3%
無形固定資産	38	2.2%	44	2.5%	+6	16.4%
投資その他の資産	81	4.6%	49	2.8%	△31	△39.1%
固定資産計	143	8.4%	118	6.7%	△25	△17.9%
資産合計	1,717	100.0%	1,760	100.0%	+43	2.5%
流動負債	269	15.7%	335	19.0%	+66	24.6%
固定負債	170	9.9%	184	10.5%	+14	8.7%
負債合計	439	25.6%	520	29.5%	+80	18.4%
株主資本	1,283	74.7%	1,236	70.3%	△46	△3.6%
その他の包括利益累計額	△5	△0.3%	3	0.2%	+8	—
純資産合計	1,278	74.4%	1,240	70.5%	△37	△3.0%
負債・純資産合計	1,717	100.0%	1,760	100.0%	+43	2.5%

流動資産：現金及び預金+367百万円、未成工事支出金+41百万円、有価証券△256百万円、未収入金△116百万円

固定資産：ソフトウェア+9百万円、長期貸付金△34百万円

流動負債：工事未払金+11百万円、未成工事受入金+85百万円、未払金△37百万円

固定負債：損害補償引当金+14百万円

純資産：当期純損失の計上△46百万円、為替換算調整勘定+8百万円

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比
	通期	通期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△58	106	+164
投資活動による キャッシュ・フロー	△23	255	+279
財務活動による キャッシュ・フロー	161	△0	△161
現金及び現金同等物の 期末残高	550	918	+367

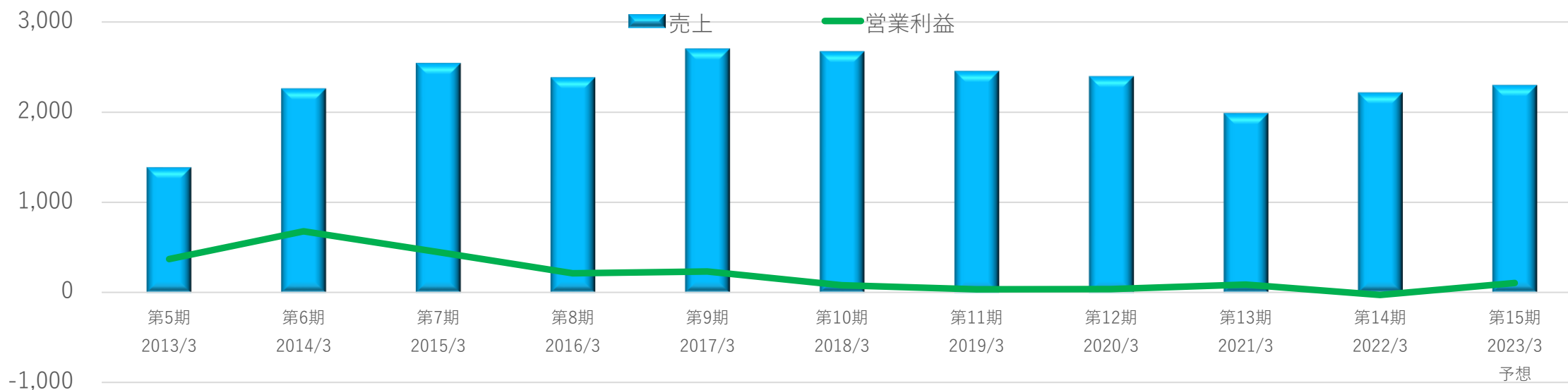
税金等調整前当期純損失△30百万円を計上しているものの、未収入金の減少や法人税等の還付で116百万円等あり、営業活動によるキャッシュ・フローは106百万円の資金増。

投資活動によるキャッシュ・フローの主な内容は、有価証券の売却による収入263百万円。

現金及び現金同等物の増減額も367百万円となり、前期末より資金増となっております。

7. 直近10期間の連結業績推移 と 2023年3月期 通期業績予想 (単位：百万円)

	第5期 2013/3	第6期 2014/3	第7期 2015/3	第8期 2016/3	第9期 2017/3	第10期 2018/3	第11期 2019/3	第12期 2020/3	第13期 2021/3	第14期 2022/3	第15期 2023/3 予想
売上高	1,390	2,262	2,542	2,384	2,704	2,673	2,455	2,398	1,989	2,216	2,300
営業利益	371	679	447	213	233	79	35	38	87	△29	104
経常利益	358	680	446	215	234	74	34	44	91	△28	98
純利益	214	426	279	131	176	67	17	△108	△33	△46	83



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2022年5月13日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。